

平成20年度「小中高 夢のかけ橋推進事業」実施報告書

東京都立雪谷高等学校

全日制課程

1 計画の概要

教育目標の一つに「地域理解を深め、地域に貢献する人間の育成を図る。」とあるように、本校は地域との連携を大切にしてきた。本事業で取り組んできたことは大きく分けて二つある。一つは生徒が様々な活動を通して地域の子供たちと触れ合うことである。部活動による地域のイベントなどへの参加、近隣の幼稚園や小学校の子供を招いての活動、「奉仕」の時間における小学校などでのボランティア活動などがある。もう一つは、地域や中学校に向けて本校のよさを知ってもらうことである。訪問授業、体験授業、部活動体験入部などがある。

2 実施内容

1 訪問授業・体験授業

(1) 中学校への訪問授業 理科、数学で延べ7校。

(2) 中学生対象の体験授業

大田区立雪谷中学校（7月11日）及び大田区立石川台中学校（7月15日）

2 「奉仕」の時間におけるボランティア活動

（近隣幼稚園や小学校での清掃活動など。）

3 部活動による交流

(1) 体験入部 チアリーダー部（2回）、吹奏楽部（2回）など

(2) 部活動による地域のイベント参加 吹奏楽部及びチアリーダー部

大田区子どもガーデンパーティ、久が原ふれあいまつり など

(3) 吹奏楽部による招待演奏会（近隣幼稚園・小学校の子供を招いて本校視聴覚室で実施）



3 成果と課題等

【成果】 中学校への訪問授業、体験授業では中学生に本校のよさや高校の授業への期待をもってもらえることができた。

「奉仕」におけるボランティア活動については、近隣の幼稚園・小学校から感謝され、生徒もそのことに喜んでいました。体験入部では生徒自ら案内役などを努め、中学生にも好印象を与えるとともに、自分が雪谷高等学校の生徒であることへの誇りをもたせることができた。

地域のイベント参加については、生徒がお兄さん、お姉さん役となって子供たちと触れ合い、他人を思いやる心を育てるとともに、自信をもたせることができた。

【課題】

(1) 訪問授業、体験授業についてはより多くの教科、教員がかかわる必要がある。

(2) 体験入部については今年度実施した部以外の中学生のニーズも高いので、さらに拡充していく。

(3) 広報活動による本校のよさのPRがまだ十分とはいえない。ホームページや学校便りなどを活用して、生徒の活躍や地域との交流などをアピールしていく。

(4) 「奉仕」の体験活動は清掃が主であったが、それだけにとどめず生徒自身が子供たちと遊んだり教えたりする機会を多く取り入れる。



